

報道資料

この夏、奥大和で涼しいテレワークを推進します

県では、脱炭素社会の構築を目指し、今夏においても冷房温度の適正化と軽装の励行により、省エネ・節電に取り組んでいるところです。

一方、暑い夏は古くから避暑地で生業を維持・継続するという知恵がありました。この知恵を現代の奈良で活用することとし、9月30日までの期間を集中的な取組期間として、県庁職員が冷涼な気候の県南部・東部地域内のシェアオフィス等を活用することで、積極的なテレワークを実施します。

また、南部・東部地域の活性化策として、働く場を選ばないテレワーク等によって人が集い、にぎわいを取り戻せるよう積極的に取り組んでいるところです。

県と南部・東部市町村との新しい協働の形として、シェアオフィス等の所在する町村と県が協働でPRすることにより、認知度の向上に取り組み、南部・東部地域の振興を図ります。

記

- 奥大和テレワーク期間：
令和5年7月1日（土）～ 令和5年9月30日（土）

- 対象シェアオフィス・コワーキングスペース

- 山添村：「大三 toco.」
「Soyel」
- 曽爾村：「SONIGATE 山粕宿」
「漆復興拠点施設ねんりん舎」
- 吉野町：「YOSHINO GATEWAY」
- 大淀町：「古民家おおいわ結の里」
- 天川村：「シェアオフィス西友」
- 下北山村：「SHIMOKITAYAMA BIYORI」
- 上北山村：「かわべのいえ」
- 川上村：「匠の聚」
- 東吉野村：「オフィスキャンプ東吉野」



(写真：YOSHINO GATEWAY)